

人間ばん馬とクラフトのまち

おけと



議会だより

No. 201

2022.2.1

■発行/置戸町議会

■編集/議会広報特別委員会



主な内容

- 定例会2～3 P
- 決算審査特別委員会委員長報告 ...3～4 P
- 町長の行政報告4 P
- 一般質問(1議員)5 P
- 委員会の活動状況6 P

録画配信がスタートした12月定例会

令和3年 12月定例会

令和3年第7回定例会は、12月15日から16日まで開催され、1議員の一般質問と条例改正、各会計の補正予算等を審議・可決し、閉会しました。

条例

▽置戸町表彰条例の一部を改正する条例

— 原案可決 —

ふるさと納税返礼品の導入に伴い、30万円以上の寄附について、ふるさと納税の返礼品を受けた者を表彰対象から除くことを新たに規定するものです。

▽置戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例

— 原案可決 —

▽置戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例

— 原案可決 —

補正予算

▽令和3年度置戸町一般会計補正予算

— 原案可決 —

歳入歳出予算を2112万4千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ45億9077万9千円としました。

▽令和3年度置戸町国民健康保険特別会計補正予算

— 原案可決 —

歳入歳出予算を75万3千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億8315万3千円としました。

▽令和3年度置戸町介護保険事業特別会計補正予算

— 原案可決 —

歳入歳出予算を156万3千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億7745万9千円としました。

▽令和3年度置戸町下水道特別会計補正予算

— 原案可決 —

歳入歳出予算を600万円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億363万円としました。

その他

▽置戸町老人福祉施設の指定管理者の指定について

— 総務常任委員会付託 —

置戸町老人福祉施設の指定管理者の指定について、閉会中の継続審査として、総務常任委員会へ付託しました。付託内容

- ・ 指定管理を行わせる施設
- 置戸町養護老人ホーム
- 置戸町特定施設入居者生活介護事業所
- 置戸町特別養護老人ホーム
- 短期入所生活介護事業所
- ・ 指定管理者となるべき団体
- 社会福祉法人
- 置戸町社会福祉協議会
- 会長 奥山忠明
- ・ 指定期間

自 令和4年4月1日
至 令和14年3月31日

▽財産の取得について

— 原案可決 —

- ・ 歯科診療台 2台
- ・ 契約金額 923万3400円
- ・ 契約相手 株式会社内田歯科材料店

専決処分

▽令和3年度置戸町一般会計補正予算

— 承認 —

議会招集の時間的余裕がないことにより専決処分とした補正予算の内容は、子育て世帯臨時特別給付金事業に要する経費の追加によるものです。

報告

▽財政的援助団体の監査結果報告

— 報告済 —

監査委員から令和3年10月25日に実施した、置戸町商工会の財政的援助費について、

■一般会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
生活交通路線維持対策事業費補助金	10,998	増額
福祉灯油購入支援金	4,500	増額
新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費	16,532	増額
起業応援金	3,000	増額
置戸町未来の起業補助金	5,300	増額
小規模事業者等事業継続給付金	4,400	増額

補助金に関する事務等は、適正に執行されているものと報告がありました。

▽行政監査の結果報告

— 報告済 —

監査委員から令和3年10月25日、26日に実施した、公の施設の指定管理者制度に係る行政監査について、報告がありました。

▽定期監査の結果報告

— 報告済 —

監査委員から令和3年11月22日に実施した、令和3年10月31日現在における工事・委託発注状況に係る事務及び工事について、適正に執行されているものと報告がありました。

▽例月出納検査の結果報告

— 報告済 —

監査委員から令和3年8月31日、9月30日、10月31日現在までの出納検査について、検査の結果、現金の出納及び保管は適正に行われていると報告がありました。

認定

▽令和2年度一般会計外6

特別会計の歳入歳出決算

の認定 — 認定 —

令和3年9月15日開会の第5回置戸町議会定例会において閉会中の継続審査として、決算審査特別委員会に付託された令和2年度各会計決算について、委員長より審査結果の報告があり、報告のとおり認定されました。

要望意見書

▽地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める要望意見書

▽燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や運用変更に関する要望意見書

議員から提出された2件の要望意見書を審議の結果、原案のとおり可決し、衆参議院議長はじめ関係各大臣等に提出することにしました。

決算審査特別委員会委員長報告

委員長報告を要約してお知らせします。

審査のための特別委員会は、11月8日から12日までのうち4日間開催し、予算の適正な執行と行政効果に視点を置き、詳細かつ慎重に審査を行い、さらに関係課長の出席を求めて疑問点などのヒアリングを行いました。

審査及び質疑の詳細の内容については省略しますが、いずれも認定すべきものと全員一致で決定いたしました。それでは、決算審査特別委員会の審査意見を口頭で申し上げます。

世界的なコロナ禍のなか、本町においても大型イベントや大人数の会議は中止に追い込まれましたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が概ね3億4千万円交付され、予防対策と経済対策にあたりました。

一方、主要ハード事業ではこどもセンター増改築工事、橋梁長寿命化修繕工事などの

大型事業が執行されました。

一般会計の実質収支においては1億6893万円の黒字となり、実質公債費比率は6.9%と前年度より0.5%減少した決算となっております。

◎成果として

・一般会計の町税現年度分の徴収率が99.49%と徴収率向上の努力が認められる。今後、滞納繰越分と後年度の徴収率向上にさらなる努力を期待したい。

・釧北牧場の経営収支は、町外からの乳牛の預託が大幅に増加したことにより、支出1300万円に対し、収入2000万円と700万円の黒字を確保したことは財政的にも大いに寄与したものと評価したい。

・特定健康診断の実施率は、北海道の平均実施率を上回り、オホーツク管内でも上位に位置し、町民の健康維持と疾病に対し早期発見早期治療に寄

与しているものと評価したい。
・園児の増加に伴い、ここ数年の課題であったこどもセンターどんぐりの増築は、園児の保育環境と職員の職場環境の改善に寄与するとともに、入園児の増加にも寄与されたことは評価したい。

◎指摘意見として

・一般会計歳出決算において、予算科目区分で500万円を超える多額の不用額を生じているところが数か所見受けられた。特に老人福祉費の委託料1300万円を超える不用額は、適正さを欠き予算管理に十分に配慮願いたい。また、関連する老人ホームの委託料は年々高騰し、おおよそ8300万円を超え、今後においては、内容を精査し経費の縮減や養護老人ホームの入居率の向上を図るなど、委託先との綿密な連携により委託料の縮減に努められたい。

・町有林の経営は、有効な施策方を検討し、林齢を超えた立木処分適正化を図るとともに、財産の価値を高め一般会計の財源に寄与するよう

意を用いられたい。

・道路パトロールの業務委託は、事業協同組合の基幹職員
の年齢も高く、人材の育成と
今後の方向性を早急に検討す
る必要がある。

・簡易水道事業における有収
率は全国平均を大幅に下回っ
ており、その要因となる漏水
を集中的に調査し、有収率向
上につなげることが喫緊の課
題であり、重点的に取り組む
ことが求められている。

・最後に各課ともに事務報告
書の登載項目について、前年
前例主義にとらわれることな
く、後年度記録として残すべ
き事務事業については漏れる
ことのないよう、また、当該
年度の町政執行の貴重な資料
となることを勘案し、内容の
検討と充実を図られるよう意
を用いていただきたい。

結びに本町の現状を認識し、
選択と集中を明確にして施策
の重点化を図り、町民の信頼
と負託に堪えていかれるよう
期待し、決算審査特別委員会
委員長の報告といたします。

(委員長 佐藤勇治)

町長からの行政報告

次のとおり町長から報告がありました。要約してお知らせします。

勝山温泉ゆうゆの 送迎車両事故

当該事故は11月12日金曜日
14時5分頃、国道242号線
の置戸陸別間、置戸浄水場か
ら陸別町側に約500mほど
先の白神橋付近で発生いたし
ました。

勝山温泉ゆうゆでは、無料
送迎ワゴン車を陸別運行便と
して毎週金曜日に定期運行し
ておりましたが、当日も勝山
温泉ゆうゆ臨時職員の運転手
が13時40分頃、入浴客4名を
乗せ陸別町を出発し、釧北峠
を降り当該区間に差し掛かつ
たところ、ハンドル操作を誤
り右手のガードレールに衝突
させたものであります。事故
発生後、直ちに北見地区消防
組合に緊急通報を行い、置戸
及び訓子府支署よりそれぞれ
救急車両が出動し、また、置
戸、勝山駐在所も緊急出動し、
被害者の救助活動が行われた
ところであります。

人身被害の状況であります
が、1名は頸部損傷及び眉間
付近からの出血等により北見

赤十字病院へ搬送。2名は自
力歩行ができるものの、打撲
等の症状から北見市の小林病
院へ搬送されております。他
の1名につきましては、外傷
や打撲症状がないことから、
現場検証後、ご自宅にお送り
させていただいております。
運転手につきましても怪我は
ありませんでした。

病院へ搬送された3名の回
復の状況ですが、11月16日ま
でに全員が退院し、現在は1
名の方が定期的に通院加療を
されている状況であります。

事故後、日を改めまして、
勝山温泉ゆうゆ理事長がご自
宅を訪問し、本人並びにご家
族の皆様に対しまして、お詫
び、お見舞いを申し上げます。
町といたしまして、事故に見舞
われられました皆様には心から
お詫び、お見舞いを申し上げます
ところでござい
ます。

事故車両につきましては、
損傷が激しいことから、年末
年始の営業に支障が出ないよ
う、社団が加入しております。
当該車両保険の給付の範囲以

内で中古車によるワゴン車両
の更新を進めております。
また、運転の職員は被害者
からの不服申し立てもなく、
道路交通法上の行政処分はあ
りません。現在は陸別への定
期運行は見合わせ、当該運轉
手の業務従事を控えておりま
す。

町から指定管理を受けて温
泉運営をしている一般社団法
人おけと勝山温泉ゆうゆは、
緊急事態宣言解除後、トレ
ーハウスの営業開始や入浴
料の割引サービス等により経
営回復に向け、社員並びに役
職員は全力で努力しており、
その最中での事故の発生であ
りました。今回の事故を教訓
に勝山温泉ゆうゆ従業員への
交通安全対策の徹底はもちろ
ん、信頼回復やサービスの向
上に一層の努力を図っていた
だき、置戸町民の財産である
勝山温泉ゆうゆのさらなる発
展、活躍を願い町といたしま
しても引き続き社団との連携
を十分に取って経営支援を図
つてまいりたいと考えておりま
す。



嘉藤 均議員

将来に向けた「まちづくり」の青写真は

町長 次年度から「新たなまちづくり」のグランドデザイン作成に着手したい

Q 前井上町長が銀河線跡地利用計画としてパースを作り、議会や町民の理解を得て実施を図ってきました。

まちなか団地やイベント広場などは構想を実現してきましたが、木道プロムナードなど実施に至らなかった部分もあります。また、オケクラフト30周年の時にはクラフトパーク構想もあったと承知をしております。

将来に向けた全体的なまちづくりの青写真、構想が必要と考えますが、昨年町長に就任されて公約の優先順位や第6次総合計画、総合戦略の遂行について、深川町長の考えをお聞きます。

A 平成18年にふるさと銀河線が廃線となり、早

14年が経過しております。その翌年には本町の鉄道用地や施設が一括譲渡され、平成23年度に目で見分けるような素材としてパース図が作成されております。このパース図の内容は地域福祉センターから中部森林管理署までの地域

を5つのエリアに分けて、それぞれの利活用構想図を描いております。そのうち、イベント広場の整備やまちなか団地の建設、本年度は宅地分譲など順次進めてまいりました。が、その他のエリアについては、具体的な利活用は進んでいない現状です。特に、木道プロムナードの整備につきましては、地域や町民の賛同が得られず、未実施のまま現在に至っております。

平成5年度策定のクラフトパーク実施構想も進捗しておりません。6次総計に森林工芸館の建て替えや秋岡資料館整備など盛り込まれておりますが、財政的な課題もあり実施計画には至っていません。

また、私が公約で掲げました、子どもの居場所づくりの拠点となる児童館の建設に向けては、来週の検討会議で協議が始まってまいります。

今後、特別養護老人ホーム、郷土資料館、役場庁舎など耐震化の必要な施設整備も控えていることから、次年度から町民の皆さんとともに新たな

まちづくりのグランドデザイン作成に着手したいと考えております。その際には町民憲章推進大会で講師を務めていただいた、山崎氏などの外部からの力も借りながら、また、町民の皆様と意見交換を重ねながら進めてまいりたいと考えております。

外部の力も借りて作り上げていくことでコミュニティの再構築とともに人づくりの方策の一つとしても取り組んでまいりたいと考えております。

再Q 町民や議会にはどういう形でこの周知をしていくのか、その辺のスケジュールを詳しく教えてください。

A 山崎氏は単に計画を作るだけではなく、町民と一緒に作る方法を取ったやり方をしているということで私も感銘を受けました。一番大きいのは、多くの町民の方が参画してこの計画が作られるような構想でなければ、山崎先生とも話し合いが物別れになるかもしれませんし、山

崎先生と私の考え方が合わないければ、違う外部の力を借りなければならぬと思いますので、具体的なスケジュールについては、今お示しするにはまだ至っておりません。

再Q 計画が絵に描いた餅にならぬなど、パースを作った終わりの過去事例もあるので、その手法と作り方など今考えていることがあればお聞きます。

A 複数年取り組みをしたなかで、町民の方々と未来を描くような姿が計画として盛り込まれ、それに向かっていく推進力になると思っておりますので、絵に描いた餅にならないように計画づくりを進めてまいりたいと思っております。また、単に配置計画だけではなく、20年後や30年後、その先の置戸町を見据え、建物もそうですがどのようなソフットが必要なのか、工夫しながらやりたいと思っております。

委員会の

活動状況

令和3年10月下旬から
令和4年1月中旬まで

総務常任委員会

【10月20日】

- ▽コロナ禍における各種行事の取り組みについて
- ▽児童館建設に向けた進捗状況（検討会議）について
- ▽ブックモービルの貸し出し状況と今後について
- ▽学校図書室との連携について
- ▽タブレット読書の対応について
- ▽コロナ禍における図書館の利用状況と取り組みについて

【11月17日】

- ▽町有地の有効利用（宅地分譲）と町有地及び町有施設の貸付料及び使用料の改定について
- ▽町営住宅の入居状況（空き家）と今後の活用計画（用途変更）及び滞納者の状況について
- ▽防災計画と地域の現状（組織化・福祉分野との連携）及び防災備蓄品の保管状況について
- ▽押印廃止に向けた今後の各種届出の手續きについて
- ▽置戸高校の現状と支援策及び今後の具体的な取り組みについて
- ▽小中学校IoT化に伴う備品更新計画及びデジタル化に伴う教員の指導力と質の向上に向けた取り組みについて

【1月7日】

- ▽令和3年議案第51号 置戸町老人福祉施設の指定管理者の指定について（付託事件）

議会運営委員会

【12月8日】

- ▽第7回置戸町議会定例会の運営等について

議員協議会

【12月15日】

- ▽第7回置戸町議会定例会の運営等について

議会活性化委員会

【10月20日】

- ▽議会の映像配信について

【11月30日・12月17日】

- ▽議員報酬について

【1月13日】

- ▽議員報酬について

- ▽議会映像配信について

- ▽3月定例会について

決算審査特別委員会

【11月8日～12日】

- ▽令和2年度各会計決算の書類審査及びヒアリング

【11月12日】

- ▽令和2年度各会計決算の審査結果決定

議会広報特別委員会

【1月7日】

- ▽議会広報第200号のクリニックと第201号の編集について

議会映像インターネット録画配信を始めました！

12月定例会より、議会映像の録画配信を行っております。置戸町のホームページまたは右のQRコードからも視聴することができます。
※Wi-Fi環境などでの視聴をおすすめします。
〈録画配信へのご意見などがあれば、お気軽に議会事務局までお問い合わせください〉



編集後記

12月15日招集の今期定例会は、日程を1日残し16日に閉会しました。

議場にビデオカメラが入り、これまでとは違った緊張感のなかで会議が進められました。町長提出議案のなかに「置戸町老人福祉施設の指定管理者の指定について」がありました。これは令和4年3月31日で指定期間が終了する両老人福祉施設について、現在の指定管理者である社会福祉法人置戸町社会福祉協議会に令和14年3月31日までの10年間再指定をするというもので、総務常任委員会への付託案件となりました。年明け早々から審議を始めることにしていますが、限られた時間のなかでの調査・審議となり、精力的な取り組みが求められます。新型コロナウイルス感染症の道内の状況は少し落ち着いていますが、人流とオミクロン株などによっていつ感染拡大が起きるかわかりません。引き続き感染防止対策に十分留意し、3度目のワクチン接種が早急に進められることを願っております。（阿部 光久）